

## 日メコン交流年 日ミャンマークラシック映画共同上映及び 映画人等交流事業

文化庁・国立映画アーカイブ主催 ユネスコ「世界視聴覚遺産の日」記念特別イベント

### 1935 年日緬合作映画『日本の娘』[デジタル復元版]上映会のご案内

日本政府は日本で唯一の国立映画機関である国立映画アーカイブやミャンマー情報省等と協力し、日メコン交流 10 周年およびミャンマー映画生誕 100 年を記念し、映画分野での交流・協力事業を実施しています。

本事業の中で、文化庁・国立映画アーカイブによる「日本の娘（デジタル復元版）」（1935 年、85 分）の上映会が 10 月 26 日（土）（12pm 及び 4pm）に決定いたしました。本作はミャンマー映画の父とも呼ばれるニープが監督をした日ミャンマー初の合作映画であり、ミャンマー政府からの要請を背景に国立映画アーカイブが復元をいたしました。（URL：<http://www.nfaj.go.jp/exhibition/unesco2019/>）

メコン 5 カ国のひとつであるミャンマーは 2011 年の民政移管以降、急速な経済発展を遂げ、近代国家の建設に向けた取り組みが進められています。映画分野においても、2020 年にミャンマー映画が生誕 100 年を迎えることを背景に、国際水準の映画文化、映画産業の育成に向けた動きが国家レベルで進んでおり、我が国に対しても様々な側面での交流・協力が期待されています。こうした背景を受け、文化庁では、本年、国立映画アーカイブや在ミャンマー日本大使館、国際交流基金ヤンゴン日本文化センター等の協力を得て、日ミャンマー初の合作映画「日本の娘」の復元、本作を含む日ミャンマーのクラシック映画の特集映画祭、ミャンマー政府閣僚の訪日研修等を実施・計画しているところです。

本上映会は、文化庁の上記事業の一環として開催されますため、ミャンマーからの多くの来賓・関係者と、国内省庁関係者の多数の参加が、現時点で予定されています。当日の上映会の取材について下記の内容で実施いたします。お忙しいと存じますが、ぜひ、ご出席いただきますようお願いいたします。

#### 【『日本の娘』[デジタル復元版] 上映会詳細】

=====

日時：10 月 26 日（土）12：00- ※開映 15 分前より受付開始

★上映前に、ミャンマー情報省大臣、文化庁長官らによる挨拶がございます

★上映後、トークイベント『『日本の娘』-映画遺産の救済と保存にむけて』（仮）（60 分）実施

登壇者：テイン・トゥット（俳優/監督, A1 Film Company）、オッカー（Save Myanmar Film プロジェクトディレクター）

会場：国立映画アーカイブ[2 階] 長瀬記念ホール O Z U

※取材は、冒頭あいさつ及びトークイベントのみとさせていただきます。

※開映後のご入場はお断りする場合がございます ※当日はお名刺をご持参ください

=====

東京羽田飛行場、目黒雅叙園、自動車競走大会など、当時の日本の貴重なロケ映像を豊富に収めており、公開当時のビルマで大変な人気を博した作品です。※日本未公開 今回のデジタル復元によって、映像の細部と音声鮮やかに甦りました。

★ご出席いただける場合は、お手数ですが 25 日（金）12 時までに株式会社 IMAGICA Lab. 企画室・遠田/桐ヶ谷までご連絡ください。

e-mail: [toda.naomi.ct@imagicalab.co.jp](mailto:toda.naomi.ct@imagicalab.co.jp) / [kirigaya.yuko@imagicalab.co.jp](mailto:kirigaya.yuko@imagicalab.co.jp)

tel:03-3280-1420